

学習内容報告書

学校名	八戸市立金浜小学校
授業者	田名部純一 佐藤かおる 北村美沙紀

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

八戸の港の様子を知ろう

1-2. 学年

2～6年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合・生活科・社会科

1-4. 単元の概要

東北地方整備局八戸港・空港整備事務所の見学を通して、海から発展してきた街・八戸の歴史や八戸港の変遷の様子を知り、八戸港の役割とわたしたちの生活との関わりについて考える。

また、実際に港湾業務艇に乗船し、八戸港内の様子や海上からの八戸の街を見ることで、ふるさと八戸への愛着を深める。


1-5. 単元設定の理由・ねらい

- ・八戸港の歴史や変遷、役割を知ることによってわたしたちの生活とのかかわりを考える。
- ・港湾業務艇に乗船し、八戸港内の様子や海上からの八戸の街を見ることで、ふるさと八戸への愛着を深める。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・対象との体験的なかかわりを通して課題に気付く。
- ・自らの生活の在り方を見直し、よりよい在り方を考えて実践する。
- ・自分と地域とのつながりに気付き、地域と進んでかかわる。

1-7. 単元の展開（全4時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
4	<p>①海から八戸港や工業地域を見よう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸港の歴史や役割、わたしたちの生活との関わりについてお話を聞く。 ・港湾業務艇に乗船し、八戸港内の様子や海上からの八戸の街を見る。  <ul style="list-style-type: none"> ・八戸港と生活との関わりについてまとめる。 	<p>外部：東北地方整備局八戸港・空港整備事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された図や写真と説明を照らし合わせながら、必要に応じてメモをとらせる。 <p>評：八戸港の歴史や役割が理解できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントとなりそうな建物を知らせる。 ・震災の被害にあった防波堤の位置を確かめさせる。 <p>評：八戸港をよく見たり、整備事務所の方に質問したりして、八戸港内の様子を理解することができたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学してわかったことをまとめさせる。 <p>評：八戸港の歴史や変遷、役割などをまとめることができたか。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ



単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・八戸港の歴史や変遷、役割を知ることのでわたしたちの生活とのかかわりを考える。
- ・港湾業務艇に乗船し、八戸港内の様子や海上からの八戸の街を見ることで、ふるさと八戸への愛着を深める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○八戸港の歴史や役割、わたしたちの生活との関わりについてお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸港には①工業港②商港③漁港④フェリーの 4つの役割がある。 ・東日本大震災の津波で被害にあった。 ・少しずつ復旧し、今の姿になっている。 <p>○港湾業務艇に乗船し、八戸港内の様子や海上からの八戸の街を見る。</p>   <ul style="list-style-type: none"> ・蕪島神社が見える ・LNG ターミナルが見える。 ・防波堤が長い。 	<p>外部：東北地方整備局八戸港・空港整備事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された図や写真と説明を照らし合わせながら、必要に応じてメモをとらせる。 <p>評：八戸港の歴史や役割が理解できたか。（観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントとなりそうな建物を知らせる。 ・震災の被害にあった防波堤の位置を確かめさせる。 <p>評：八戸港をよく見たり、整備事務所の方に質問したりして、八戸港内の様子を理解することができたか（観察）</p>

3. 今回の活動の自己評価

- 外部と連携し、東北地方整備局八戸港・空港整備事務所の方に、八戸港の歴史や変遷、役割を教えていただき、わたしたちの生活とのかかわりを考えることができてよかった。
- 実際に港湾業務艇に乗船させてもらうことによって、八戸港内や海から見える八戸の街を実際に見ることができてよかった。
- 東日本大震災の被害から復旧した防波堤を見ることで、防災への意識が高まった。
- コロナ禍の中、外部と連携した活動を実施できたことで、子どもたちのよい学びにつながった。



4. 今後の課題

- 今回は、単元の導入として、外部との連携及び見学活動を取り入れた。ある程度「八戸港」について学習してから、単元の間あたりで見学活動を設定することで、八戸港の様子について詳しく理解することができるかもしれない。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし